

ましこアカマツ復活プロジェクトの取り組み！ （平成31年2月19日）

かつて益子の山にはアカマツが豊富に生育し、豊かな環境と景観を形作るとともに、益子焼の窯焚きに利用されていました。

しかし、現在ではマツ枯れなどの影響により、その多くが失われています。

そこで、益子町では町木でもあり、歴史ある益子の風土の象徴となるアカマツを復活させる「ましこアカマツ復活プロジェクト」を実施しています。

ましこアカマツ復活プロジェクト

- 益子町内の小学生等により、かつて町内の山に数多く生育し益子町の風土を形作り古くから窯業の燃料として利用され『焼き物の里益子』のシンボルともいえるアカマツによる森づくりを行う取り組み。
- 同時にアカマツと町とのつながりの歴史について学び、子供たちの郷土愛を育み、深めていくとともに、自然や森林の大切さ、木を使うことの意義、地域住民の森づくりへの理解促進を図る取り組み。
- 平成29年8月に実行委員会を設立し、取り組みをスタートさせました。

平成31年2月19日(火)くもり

プロジェクト2年目。

昨年に引き続き、益子町内の小学生の手で、益子の森に「アカマツ苗木」が、植栽されました。今年度の主役は、益子町立益子小学校5年生です。

今回は、その様子をお知らせしたいと思います。



昨年に引き続き、平成31年1月に、実行委員会の中心メンバーである〔益子里山の会〕の方々が下刈り等の手入れを実施してくださいました。子供たちが苗木の植栽ができるように、下準備です。

平成28年は、このような状況でした。

アカマツ以外の広葉樹が多く生え、笹などが斜面を覆い、アカマツの種(松ぼっくり)から芽が出にくい環境にありました。





## 安全第一に！

子供たちが到着する前に、指導にあたる益子里山の会の方々が、入念に打ち合わせです。

## 児童たちが到着！

益子小学校5年生  
児童、引率の先生合わせて約50名  
それぞれがヘルメットを準備し、  
勢ぞろいです。



## 町木アカマツ について

アカマツ復活プロジェクト実行委員会から、  
ご挨拶と活動の意義の説明です。

## ちょうど、学校で森林に ついて学んでいるところ

子供たちは、真剣なまなざしで  
アカマツと焼き物のかかわりを  
聴いています。



## 益子小学校の精鋭部隊が 急な斜面を出発！

**早速、植栽に取り掛かります。**

**急な斜面もなんのその！**



**一斉に散らばり植栽にかかいます。**



**地面の固いところはお手伝い**



**急なところは協力して！**



**足元の良いところは、ひとりで！**



**一本、一本を、ていねいに植えていきます。**



**植栽したアカマツを前に記念撮影！**



**みんなで植えた、益子町の木「アカマツ」**

**元気に育って、20年後30年後に、立派な森となっていますように。**



アカマツ復活プロジェクトの実施にあたっては、「とちぎの元気な森づくり県民税」が使われています。